# 第5回　さかい与謝野晶子　青春の短歌大会　入選作品　（1～15）

| | 学校名 | 氏名（ふりがな） | 作品 |
|---|---|---|---|
| 1 | 北九州工業高等専門学校 | 迫田（さこだ）　隼人（はやと） | 毎日の振り子のような生活に我はただ思うことしかできず |
| 2 | 帝塚山高等学校 | 山本（やまもと）　芽依（めい） | あと五分期末試験が終わるまで僕たちの夏が始まるまで |
| 3 | 長野県白馬高等学校 | 清水（しみず）　友萌美（ともみ） | 想い人近くにいたり離れたりまるで海の波打ちのよう |
| 4 | 大阪府立布施高等学校 | 野田（のだ）　純鈴（すみれ） | 夕暮れが君と私を染めていく火照る私をごまかすように |
| 5 | 大阪府立布施高等学校 | 髙野（たかの）　歩佳（ほのか） | 風に乗る季節外（はず）れの雪のように私も空を舞ってみようか |
| 6 | 大阪府立金岡高等学校 | 西野（にしの）　七海（ななみ） | 友達と一緒に帰る三十分体感五分で「んじゃまた明日」 |
| 7 | 大阪府立金岡高等学校 | 山本（やまもと）　祈久斗（きくと） | 陽の光覗く窓から目をそむけ夢と現実どちらで起きたか |
| 8 | 大阪府立金岡高等学校 | 尾田（おだ）　日咲（ひさき） | 上ばきの名前薄れていくようにタイムリミット近づいていく |
| 9 | 大阪府立淀商業高等学校 | 森野（もりの）　蒼太郎（そうたろう） | 心地よい祭りの後の静けさや一人じゃないと虫が鳴いてる |
| 10 | 初芝富田林高等学校 | 沖田（おきた）　真幸（まさゆき） | 夏が来るマスクの中は熱帯夜外す機会はとうに失くした |
| 11 | 初芝富田林高等学校 | 高木（たかぎ）　陽奈（ひな） | 窓辺にて読書しながらうとうとと光合成の練習もする |
| 12 | 初芝富田林高等学校 | 松浦（まつうら）　心優（みゆう） | お父さんごめんなさいが言えてたら今頃仲良く出かけただろうな |
| 13 | 初芝富田林高等学校 | 松本（まつもと）　樹奈（じゅな） | 青空を見てるふりして君のこと「難しいな」と解いてみるけど |
| 14 | 大阪府立三国丘高等学校 | 西岡（にしおか）　史織（しおり） | 海風に逆らうとんぼズームして忘れたくない今日のおもいで |
| 15 | 大阪府立三国丘高等学校 | 野村（のむら）　有希（ゆき） | アイスティーの最後の氷とけ切って高二の夏が終わっていくよ |

# 第5回　さかい与謝野晶子　青春の短歌大会　入選作品　（16～30）

| | 学校名 | 氏名（ふりがな） | 作品 |
|---|---|---|---|
| 16 | 大阪府立三国丘高等学校 | 橘（たちばな）　晃太朗（こうたろう） | くもりだが上はいつでも晴れているそんな心で生きていきたい |
| 17 | 広島県立呉商業高等学校 | 岡澤（おかざわ）　優衣（ゆい） | 年に一度しか会えないなんてベガとアルタイルになった覚えはないよ |
| 18 | 大阪朝鮮中高級学校　高級部 | 金（きん）　瑞那（そな） | つらくても涙ぐっとこらえていたら「泣いてもいいよ」母の目赤き |
| 19 | 東邦大学付属東邦高等学校 | 澤田（さわだ）　紗愛（さや） | 君の恋不幸を願う僕はもう幸せにする資格もないな |
| 20 | 東邦大学付属東邦高等学校 | 金山（かなやま）　灯（あかり） | え、分からんアカン終わらん勘、当たらん見るも無惨な解答の欄 |
| 21 | 大阪府立住吉高等学校 | 坂元（さかもと）　菜友（なゆ） | がなもがなてしがてしがなばやなむそ唱えませんか終助詞の呪文 |
| 22 | 京都府立嵯峨野高等学校 | 内田（うちだ）　芳佳（よしか） | 新聞に「二十（はたち）歳から四十（しじゅう）まで青春」思ってたんと違うんやけど |
| 23 | 京都府立嵯峨野高等学校 | 富永（とみなが）　湊大（そうた） | 夕闇に沈む愛宕を仰ぎ見て車窓の向こうの自分と目が合う |
| 24 | 須磨学園高等学校 | 今村（いまむら）　未悠（みゆ） | 考える私と5分で詠む君は正反対だが出来は似ている |
| 25 | 大阪府立泉北高等学校 | 藤井（ふじい）　実々（みみ） | ページ数多かったはず一〇九六頁（さんねんかん）しおり挟んでとめておきたい |
| 26 | 松商学園高等学校 | 伊藤（いとう）　沙帆（さほ） | 去年まで祖母から聞いた「おかえり」は私が言う番盆花飾る |
| 27 | 堺市立堺高等学校 | 青木（あおき）　和大（かずひろ） | 夏の締め初めて釣ったアオリイカ帰り道には大きな満月 |
| 28 | 大阪府立鳳高等学校 | 綾織（あやおり）　宝輝（たから） | タータンの熱さ全てを受け止めてこの一本に全てをかける |
| 29 | 神奈川県立光陵高等学校 | 樫下（かしした）　小春（こはる） | 無駄じゃない授業は聞いていなくても僕らは青を学んでいます |
| 30 | 神奈川県立光陵高等学校 | 池野（いけの）　弘葉（ひろは） | ありがとがごめんねになる距離感のこれは直火（じかび）で燃やせない恋 |

# 第5回　さかい与謝野晶子　青春の短歌大会　入選作品　（31～45）

| | 学校名 | 氏名（ふりがな） | 作品 |
|---|---|---|---|
| 31 | 神奈川県立光陵高等学校 | 太田（おおた）　実来（みく） | 朝六時栞頼りに今日を開く自分らしさを探し求めて |
| 32 | 神奈川県立光陵高等学校 | 照田（しょうだ）　佳苗（かなえ） | アラームが朝だと告げるその前におはよう今日も生き急いでる |
| 33 | 神奈川県立光陵高等学校 | 山本（やまもと）　未生（みう） | 教室に置いていこうか重たくていつか蒸発するはずの恋 |
| 34 | 神奈川県立光陵高等学校 | 佐野（さの）　晃太（こうた） | オレンジを切り分けるように解いていく問題集の酸っぱい匂い |
| 35 | 大阪府立水都国際高等学校 | 井村（いむら）　笑咲（みさき） | 永遠にこの時でいいそう願い気がつけばもう選挙権あり |
| 36 | 大阪府立東住吉総合高等学 | 河合（かわい）　聖愛（せな） | 海に行く「どの海が好き？」ひとつだよ海は世界にひとつだけだよ |
| 37 | 大阪府立いちりつ高等学校 | 大北（おおきた）　千織（ちおり） | 良（い）いものにしたいからこそ激怒したあなたはメロス駆け抜けて行け |
| 38 | 大阪府立いちりつ高等学校 | 中（なか）　圭太（けいた）コサシ | 電車からふと眺め見る夜の街光の数ほど人生がある |
| 39 | 大阪府立いちりつ高等学校 | 古井（ふるい）　万葉（かずは） | 「また明日（あした）」去り行く君は後ろ見ず私は何度も振り返るのに |
| 40 | 大阪府立いちりつ高等学校 | 髙松（たかまつ）　莉子（りこ） | 同じもの？幼い頃に見た映画大人になるってこういうことか |
| 41 | 大阪府立狭山高等学校 | 岩本（いわもと）　星桜（しおん） | 焦燥感お前はいつもそこにいた明日を思うすぐそこにいた |
| 42 | 大阪府立狭山高等学校 | 岡田（おかだ）　実優（みゆう） | いつもより小さな声で話そうか暗闇に咲く線香花火 |
| 43 | 初芝立命館高等学校 | 古家（ふるや）　寛子（ひろこ） | 教科書をずらして隠した落書きは思い出と共にたたまれている |
| 44 | 東京都立町田高等学校 | 勝田（かつた）　そら | 青春って何だろうねと君に問う君は笑って「今」と答える |
| 45 | 東京都立町田高等学校 | 植田（うえだ）　俊太郎（しゅんたろう） | テニス部で仲間と共に練習し日々強くなり下剋上する |

# 第5回　さかい与謝野晶子　青春の短歌大会　入選作品　（46～60）

| | 学校名 | 氏名（ふりがな） | 作品 |
|---|---|---|---|
| 46 | サレジアン国際学園高等学校 | 小林（こばやし）　花（はな） | 紫陽花の隙間から見る君の目は紫よりも神秘的である |
| 47 | サレジアン国際学園高等学校 | 名倉（なくら）　舞（まい） | ビー玉に透かして見えた世界には見えぬ正解ある気がしてる |
| 48 | サレジアン国際学園高等学校 | 菅（かん）　志織（しおり） | 世界史で習う長いカタカナ名魔法学校の呪文みたいだ |
| 49 | 星野高等学校 | 長谷部（はせべ）　澄香（すみか） | 台風の目に住む君は言葉すら気にせず先に進むのだろう |
| 50 | 星野高等学校 | 倉持（くらもち）　美香（みか） | 小説の主人公の歳追い抜いた私は何か変わりましたか |
| 51 | 大阪府立千里高等学校 | 印幡（いんば）　侑那（ゆうな） | 一番の心を満たすときこそは一冊ノートがくたびれたとき |
| 52 | 大阪府立千里高等学校 | 上野（うえの）　桜和（おうか） | 三味線の儚い音は土地への愛下駄が鳴り響く郡上八幡 |
| 53 | 関西大倉高等学校 | 鳥養（とりがい）　総（そう） | 久々にブランコに乗り揺れてみた揺れていたのは僕らのこころ |
| 54 | 関西大倉高等学校 | 吉本（よしもと）　楓（かえで） | 部屋の中で外との繋がり絶ってみて一人で楽しむ日があってもいい |
| 55 | 明浄学院高等学校 | 河合（かわい）　倖佑（こうすけ） | 衣替えはだで感じる夏の風躍りはじめる私の心 |
| 56 | 羽衣学園高等学校 | 中山（なかやま）　めい | じりじりと葉を枯らすような猛暑でも朝が来たれば蕾はひらく |
| 57 | 羽衣学園高等学校 | 小林（こばやし）　愛琉（あいる） | 酒入（はい）りいつにも増して話す父気づけ私の眠気の限界 |
| 58 | 大阪府立泉陽高等学校 | 芳田（よしだ）　悠人（ゆうじん） | 寂しさを恐れる心皆が持つものだと知って寂しさ消える |
| 59 | 大阪府立堺東高等学校 | 門口（もんぐち）　浩斗（ひろと） | 思い出す透明だったあのときをどんなことにも必死になって |
| 60 | 鹿児島第一高等学校 | 西丸（にしまる）　知伺（つぐみ） | 汗にじむ選手から受け取るあかビブス蝉も息を殺す引退試合 |

# 第5回　さかい与謝野晶子　青春の短歌大会　入選作品　（61～62）

| | 学校名 | 氏名（ふりがな） | 作品 |
|---|---|---|---|
| 61 | 大阪府立交野高等学校 | 金杉（かなすぎ）　海澄（かいと） | 思い出とか特に呼ぶものもないけれど夏が過ぎると少し寂しい |
| 62 | 清風南海高等学校 | 谷川（たにかわ）　ゆかり | 友達に元気なおはよう言うために今日も学校行こうと思う |